

# 保育園での異文化体験エピソード



## その26 金魚は海や川に帰して!



ルーシーちゃんは、オーストラリア生まれ。お父さんは日本人、お母さんはオーストラリア人。生まれてまもなくして来日し、やがて私の園に通うようになり、年長さんとなりました。

送り迎えはお母さん。日本語はコミュニケーションできるほどで、園のお便りや行事案内は英訳を依頼されることもあります。ルーシーちゃんは、お母さんとは英語で、友だちとは日本語で、英語ができる職員とは日本語と英語の両方でコミュニケーションをとります。

さて、ある日のことです。園で飼っていた金魚が1匹死にました。担任は、「金魚を土に埋めて、さよならをしましょう」と子どもたちに呼びかけました。金魚とお別れも終わったその日の夕方、ルーシーちゃんはお迎えにきたお母さんに、その日の出来事を話しました。もちろん、金魚とお別れも。

すると、お母さんはちょっと強めに「ええ～？ 金魚をどうして土に埋めたの？ 金魚は魚よ。魚は水の中に生きていたのだから、海とか川とかに帰すべきよ。私たちはそうしているわよ」と、担任に話しました。

担任が、驚きをもって異文化に触れた瞬間でした。

(中山利彦／東京都新宿区・新宿せいが保育園副園長)

### 「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか？!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp